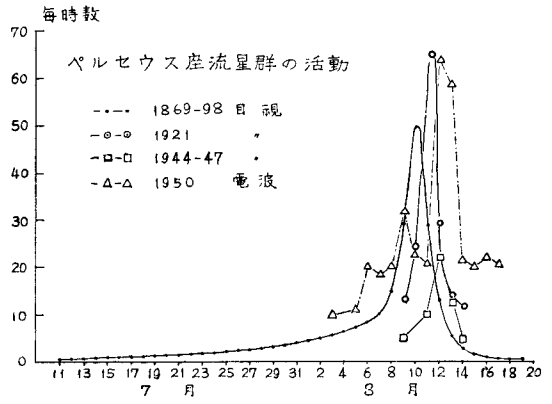


☆8月の天文暦☆

日時	主な天文現象
3 5	水星 レグスの0°6'南をとおり
5 19	望
6 8	月 土星の1°南をとおり
6 10	水星 天王星の0°04'南をとおり
8 15	立秋 (太陽黄経 135°)
10 11	月 木星の4°南をとおり
10 14	木星 留
12 15	下弦
13 15	土星 衝
19 17	朔
21 18	月 水星の7°北をとおり
23 14	月 火星の5°北をとおり
24 6	処暑 (太陽黄経 150°)
24 19	水星 最大離隔 太陽の東 27°
27 16	上弦
30 3	天王星 合
30 10	金星 外合

夏の流星

8月は流星が多く見られる。ペルセウス座流星群が月をはじめから活動しているほか、その他の流星も多いため



である。ペルセウス座流星群は、最盛期の8月10日～13日には、1人で50以上も数えられる。ペルセウス座が北東の地平線上に昇る21時ころから、活動がはじまるが、そのころは、見かけの経路が長く南の地平線まで達するものや、速いものが多い。夜半すぎ、輻射点(赤経45° 赤緯+57°)が天頂に近づくにつれて、見かけの経路は短くなる。大きな流星のあとには、白痕の残るのが見られる。輻射点の近くを双眼鏡などの広視野の望遠鏡で見ていると、小さな流星まで1つ1つ痕を残すのがわかる。流星群の数は、15日以後、急に減じる。

東京における日出入および南中 (中央標準時)

Ⅷ月	夜明	日出	方位	南中	高度	日入	日暮
日	時分	時分		時分		時分	時分
1	4 11	4 48	+23°3'	11 47	72°3'	18 46	19 22
11	4 21	4 56	+19.8°	11 46	69.7°	18 36	19 11
21	4 30	5 4	+16.0°	11 44	66.6°	18 25	18 59
31	4 38	5 11	+11.7°	11 42	63.0°	18 11	18 45

各地の日出入補正值 (東京の値に加える)

(左側は日出, 右側は日入に対する値)

鹿兒島	+41	+32	鳥取	+20	+24	仙台	-10	+2
福岡	+38	+36	大阪	+16	+17	青森	-15	+7
広島	+30	+31	名古屋	+10	+13	札幌	-22	+9
高知	+26	+24	新潟	-3	+9	根室	-40	-7

◇8月の日月惑星運行図

